

地球環境変化に対する多様な課題に継続的に対処するため、IGBP（地球圏 - 生物圏国際協同研究計画）、IHDP（地球環境変化の人間の側面研究計画）などの傘下で活動していたコアプロジェクトは、その多くがあらたなプラットフォームである Future Earth の下で、ミッションを再定義し、研究を継続・発展させている。このような状況の下で、地球環境変化の人間の側面（HD）分科会は、平成 29 年 7 月に公開シンポジウム「地球環境変化研究の転換期における人間の側面研究（HD）の推進に向けて」を開催するなど、我が国で後れていた人間の側面からの研究を大幅に拡充し、バランスのとれた将来社会の在り方を模索する活動を行ってきた。今回の公開シンポジウムは、上述の一連の活動の一つであり、人間活動の集積が地球という巨大なシステムに「地質科学的」な影響を与えることを示唆した人新世（Anthropocene）に焦点を合わせる。一人一人のライフスタイルを見直すことで、どのようにしてより豊かな未来社会が実現できるのか議論したい。

入 場 無 料  
申 込 不 要



公開シンポジウム  
地球システムと  
私たちの生活  
人新世時代の想像力

2 0 1 8

1 2 / 1 6 S u n

1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

主催： 日本学術会議地域研究委員会・環境委員会・地球惑星科学委員会合同地球環境変化の人間の側面（HD）分科会、  
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所

公開シンポジウム

# 地球システムと私たちの生活

—人新世時代の想像力

## プログラム

13:00 開会挨拶

春山 成子 日本学術会第三部会員、三重大学大学院生物資源研究科教授

趣旨説明

阿部 健一 日本学術会議特任連携会員、総合地球環境学研究所・教授

13:10 **講演 1** 人新世という言葉の由来と背景

岡本 耕平 日本学術会議連携会員、名古屋大学大学院環境研究科研究科長

13:35 **講演 2** パリ協定：トップダウンからボトムアップへ

亀山 康子 日本学術会議連携会員、国立環境研究所社会環境システム研究センター副センター長

14:00 **講演 3** 世界遺産地域管理における情報技術の導入

山口 しのぶ 日本学術会議連携会員、東京工業大学学術国際情報センター教授

14:25 **講演 4** 環境問題が変える未来社会の消費者

吉田 謙太郎 日本学術会議連携会員 九州大学エネルギー研究教育機構教授

14:50 休憩 (15分)

15:05 **講演 5** 人口減少下の農村と農業：ネパールと日本

櫻井 武司 日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授

15:30 **講演 6** 居住地選択における環境要因の意義

石川 義孝 日本学術会議第一部会員、帝京大学経済学部教授

15:55 総合討論

16:55 閉会挨拶

氷見山 幸夫 日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授

17:00 閉会

会場：東京大学本郷キャンパス 弥生講堂

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内

【お問い合わせ】